

# 山形新庄大豆畑トラスただより

大豆、ナタネ、ハトムギ、お米は、全て無農薬・無化学肥料栽培です。  
安心のできる美味しい国産大豆・ナタネの自給率向上を！

農村と都市の交流で食卓を私達の手へ！原発社会から脱却の道を！  
知らぬ間に不安なゲノム編集組み換え食品を食べさせられるのはNO！



## 【トラスト会員募集】

1口（10坪）5,000円（送料代込み）から会員登録の受け付けをします。  
1口から収穫された大豆（味噌・醤油に変更可）を毎年12月に配当致します。  
（会員には「別途」、単品注文を会員価格で受けて、いつでもお届け致します）

〈すみだ青空市 ヤッチャバ〉  
毎月第2土曜日  
大好評「豆むすめ」発売中



■山形新庄大豆畑トラス〈生産者側〉事務局  
農業生産法人（有）新庄最上有機農業者協会内  
〒999-5206 山形県最上郡鮭川村大字曲川377  
TEL:0233-55-3383 FAX:0233-64-5077

■山形新庄大豆畑トラス〈消費者側〉事務局  
TEL:090-1772-2271（ショートメール可）  
FAX:045-478-1410（24時間受付）  
Mail:contact@daizubataketrust-ashioto.jp



ホームページ見てください！！  
WEBからの注文も出来ます！！

大豆畑トラスあしおと

検索



<https://daizubataketrust-ashioto.jp/>

## 2023年度の大豆畑トラスが始まります

～安心のできる農産物と食料自給率の向上を都市と農村の交流で～

### 今年も草刈りツアー再開です

## ゲノム編集（食べ物）という危うさ（8）

筆：消費者事務局 飯島 定幸



コロナ禍が少し落ち着いた雰囲気の中、食品を巡る周囲を見渡すと、本年4月からは、遺伝子組み換え食品を買わないで済む為の選択判断の「食品表示」ラベルから、「遺伝子組み換えではない」の文字表現が消え去ろうとしています。（詳細：日本消費者連盟刊の「消費者レポート」No.1667、遺伝子組み換え食品いらぬ！刊のキャンペーンニュース参照）今現在、遺伝子組み換え（本来持ち合わせてない外来の遺伝子を組み込む）やゲノム編集（本来の遺伝子の一部位を切断する）技術操作で作られ替わってしまった食品（皆さんご存じの輸入大豆・トウモロコシ・菜種・綿実使用の加工品、菓子類、飲み物、今や生トマト、切り身鮭等々）が否応なしに、知らぬ間に食卓に上っているのが日本の食事生活の実態です。そしてそこには、想定外のDNA箇所、遺伝子が組み込まれ足り切断されたりしてしまう、いわゆるオフターゲットのリスクがあり続けていて、アレルギー発症の要因となるのでは等々の、消費者が抱く数多くの不安は何ら取り除かれていません。（ちなみに、mRNAコロナワクチンもゲノム編集技術で開発されています。あまりに拙速な臨床応用ですから、緊急の是非はさておいても、まだまだこれからの利用には慎重であって欲しいと思います。）

だからこそ私たちは、今こそ、生産者と消費者の信頼という「顔と顔の見える」提携で、安心のできる食品（今は、大豆・納豆、醤油・味噌、菜種油・お米）を産消提携の協力・協働、信託信頼、共同の作業で、安心のできる食品を作って食べてゆきましょう！と声を上げないわけにはいきません。日本でも生産者たちが、バイオ企業御用達の“遺伝子組み換え種子”で作物を作ることになれば、バイオ企業御用達の“除草剤とセット”で購入せざるを得ない社会構造の中で、農薬そのものも使わないで、環境（地下水、河川海、土壌、大気、生き物昆虫、健康等々）への負荷を少しでも避けながら有機農業が続けられるようにと、信頼という「顔と顔の見える」提携で、

生産者と消費者との交流を通して遅々としての歩みであっても、培ってゆきたいと思っています。今夏の草刈りツアーでは、おしゃべりの素材の要に、今の無農薬・無化学肥料栽培の有機農業でも持続可能な食糧生産を続けていけるのか？生活給保証、生産量保証、食糧逼迫の懸念等々を払拭できるのか？などもテーブルに載せたいと・・・。



今こそ、分かり合い、分かち合い、今、新たに！

※P71～P84、  
P198～P206 参照